

Church of England

チャーチ オブ イングランド

知っておきたいキリスト教のことば (24)

英国国教会

えいこくこっきょうかい

わたしは中高生の頃はバプテスト系の教会に行っていました。その後長い間、教会を離れていたのですが、「もう一度教会に行こう」と決心して門を叩いたのが、日本聖公会の教会でした。

教会に行く前に、前日下見をしました。看板を見ると、牧師さんの名前の前に「パウロ」という英語名が書いてありました。きっと宣教師の方の子孫か何かなのだろうと勝手に想像していました。

ところが日曜日、出迎えてくれたのは、英語名など似あわない(すいません)、どこから見ても日本人の牧師さんでした。わたしはそれまで、「洗礼名」というものの存在を知らなかったのです。(洗礼名についてはまた取り上げたいと思います)。

その時に、わたしは牧師さんに聞いてみました。「この教会はカトリックですか、プロテスタントですか」と。すると、「どっちでもないよ。どちらかという、カトリックに近いかな」と言われました。

このホームページを運営している「桃山基督教会」は聖公会(Anglican Communion)の教会です。聖公会は、16世紀にローマ・カトリックから独立した英国国教会を母体に、世界の約80ヶ国(信徒数約7000万人)の地域に広がる教会です。マルティン・ルターなどの宗教改革によって生まれたプロテスタント教会と英国国教会とは、その設立の経緯が多少異なります。英国国教会は、主に政治的な事情により、合法的にローマから離れたという点が、その違いなのです。

聖公会をプロテスタント教会の一つの教派として捉える人も多くいます。しかし、礼拝形式や伝統を重視する点では、極めてカトリックに近いといえます。そのため、聖公会はブリッジチャーチ(橋渡しの教会)として、カトリックとプロテスタント全教会の一致を目指して活動する使命もあるのです。

今回は「エキュメニカル」です。お楽しみに。



「カンタベリー大聖堂」

イエスが神の子であることを公に言い表す人はだれでも、神がその人の内にとどまってくださり、その人も神の内にとどまります。

(ヨハネの手紙一 4章15節)

